

2021年11月10日

各位

第10回「<sup>どしょうまち</sup>道修町たなみん寄席」配信開始のお知らせ  
～船がテーマの上方芸能とクルーズで大阪の魅力を再発見～

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市）は、くすりの町の寄席として主催する、第10回「道修町たなみん寄席」を、11月22日（月）からオンデマンド配信します。第10回目の節目となる今回は「船でめぐる、あの日の大阪」をテーマに、水とともに栄えた「水の都」大阪にまつわる演目をお届けし、大阪の魅力を再発見いただきます。上方落語の大ネタと、当会初となる浪曲のほか、「大阪まち歩き」シリーズの第二弾では、船に乗り込み、毛馬<sup>こうま</sup> 閘門<sup>かき</sup> 越えの見どころ映像を交えながら、大阪市の中心地を流れる川から、大阪の歴史と、川を舞台に生まれた上方芸能の名作や名場面を紹介します。

当社は、1678年に大阪で創業した老舗製薬企業として、田辺三菱製薬史料館の一般公開、道修町ミュージアムストリートの展開、および上方芸能と歴史講演の会「道修町たなみん寄席」の開催を通し、道修町を中心に、大阪の歴史と文化の再評価や、地域コミュニティの振興に取り組んでいます。これらメセナ活動（企業による芸術文化支援）の実施を通して、地域が持つ多様性を尊重し、活力に満ちた豊かな社会の実現をめざしています。



▲大阪まち歩き「水の都の名場面を船でめぐる」編（高島幸次、春野恵子、桂春若）

### 第10回道修町たなみん寄席「船でめぐる、あの日の大阪」オンデマンド配信概要

- 配信開始日時：2021年11月22日（月） 10:00
  - 配信サイト：道修町たなみん寄席ウェブサイト (<https://www.tanamin-yose.net>)
  - 視聴料：無料
  - 演目：※詳細は添付のチラシをご覧ください
1. 大阪まち歩き「水の都の名場面を船でめぐる」編  
（航路：天満橋八軒家浜～大川～毛馬閘門～淀川～毛馬閘門～大川～土佐堀川）  
高島幸次（龍谷大学 REC 顧問）、桂春若（落語家）、春野恵子（浪曲師）
  2. 上方落語 桂春若「三十石」（伏見から大阪の八軒家までの船旅を描いた落語の大ネタ）
  3. 浪曲 春野恵子「樽屋おせん」（曲師：虹友美）  
（「八百屋お七」などで知られる井原西鶴「好色五人女」の巻二「樽屋おせん」が題材の浪曲）



▲落語「三十石」を演じる桂春若さん



▲浪曲「樽屋おせん」を演じる春野恵子さん

## ■ 道修町たなみん寄席について

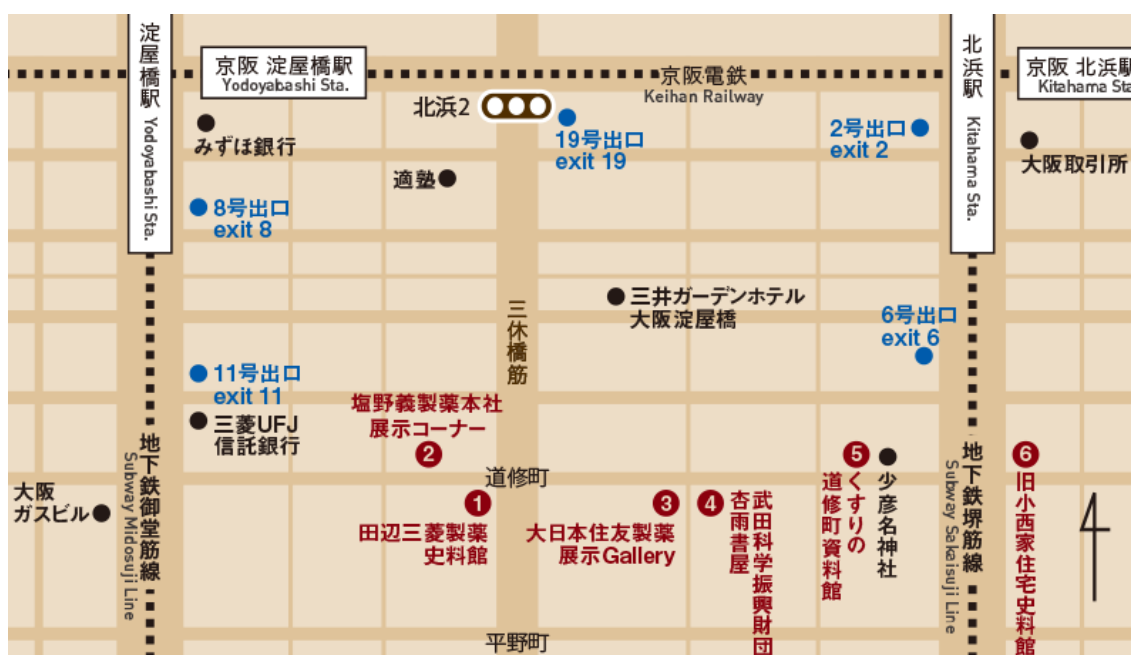
「くすりの町」として知られる大阪・道修町に本社をおく田辺三菱製薬が、メセナ活動の一環として、2017年から年2回開催している寄席（2020年、2021年はオンデマンド配信での開催）。当社のキャラクター「たなみん」をナビゲーターに、大阪で人気の高い伝統芸能である落語などの上演とともに、その背景となった大阪の歴史についての講演を行うことで、大阪の歴史や伝統文化に気軽に親しんでいただけます。これまで、「水の都、大阪の夏」、「大阪人につける薬」、「落語は学んだもん勝ち」、「噺のプロファイル」、「落語は教科書より真なり」、「お説教から落語へ」、「天神祭の落語で疫病退散祈願！」「神農さんで疫病退散祈願！」「上方落語で歩く大阪」のタイトルで計9回開催し、のべ1万人を超える方にご視聴いただき、ご好評いただいています。

道修町たなみん寄席ウェブサイト：<https://tanamin-yose.net>

## ■ 道修町ミュージアムストリート

日本の医薬品産業発祥の地と言われる道修町通（どしょうまちどおり）沿い約300メートルに並ぶ、医薬品に関する展示施設6軒※を「道修町ミュージアムストリート」と名付け、くすりの町の認知向上と地域振興を図っています。

※田辺三菱製薬史料館、塩野義製薬本社展示コーナー、大日本住友製薬展示 Gallery、武田科学振興財団杏雨書屋、くすりの道修町資料館、旧小西家住宅史料館



本ニュースレターに関する報道関係者からのお問い合わせ

田辺三菱製薬株式会社 コミュニケーションクロスローズ部 TEL:06-6205-5119

田辺三菱製薬株式会社は三菱ケミカルホールディングスグループの一員です。

**KAITEKI Value for Tomorrow**

三菱ケミカルホールディングスグループ



おうちで楽しむ  
インターネット寄席



おかげさまで  
第10回

# 道修町 たなみん寄席

10回記念  
スペシャルその1



## 「水の都」の 名場面を船でめぐる

今回の演者2人と高島先生が、江戸時代の大阪の玄関口八軒家浜から乗船し、大川から毛馬の閘門(こうもん)を経て淀川に入り、土佐堀川まで下るクルーズ。川沿いに、落語や浪曲の舞台や、田辺三菱製薬発祥の地、田邊屋橋(現・常安橋)をご紹介します。



## 落語「三十石」桂春若



伏見から大坂の八軒家までの船旅を描いた大ネタ。師匠が20代半ばで、憧れの五代目桂文枝から稽古をつけてもらった、思い出深い演目です。

## 浪曲「樽屋おせん」春野恵子

江戸時代前半、天満の樽職人の女房おせんの「不義密通」を題材に井原西鶴が創作した物語が下地になっています。息を呑む熱演、ご期待ください(曲師・虹友美)。

10回記念  
スペシャルその2



## 第10回「船でめぐる、あの日の大阪」

道修町たなみん寄席は、

「くすりの町」として知られる大阪・道修町の田辺三菱製薬が主催する寄席です。

今回は第10回を記念して、

天満橋のたもとから船に乗り込み、

大阪の街を川面からご紹介するほか、船にちなんだ落語と浪曲で、

「水の都」大阪の魅力を再発見いただけます。



桂春若  
(落語家)

船めぐりと落語「三十石」の両方で、水都大阪の醍醐味を味わってください



春野恵子  
(浪曲師)

「樽屋おせん」は男女4人の思惑や嫉妬が渦巻く、実におもしろい演目です



高島幸次  
(龍谷大学REC顧問)

今回はみなさんを「くすりの町」だけでなく、広々とした秋の川面に誘います

11/22(月)より公開スタート! (無料)

落語&トークがいっぱい!  
道修町たなみん寄席の  
YouTubeチャンネルに  
登録してね

過去に公開された落語やトーク、史料館の紹介などが観られる道修町たなみん寄席チャンネル。今後もどんどんコンテンツを更新予定です。

◎お手持ちのパソコンやタブレット、スマートフォンで無料でご覧いただけます



[www.tanamin-yose.net/](http://www.tanamin-yose.net/)

たなみん寄席 検索